

地質情報展 2025 くまもと： 熊本県の岩石・鉱物・化石展示と床貼り地質図

利光 誠一¹・斎藤 眞¹・柳澤 教雄²

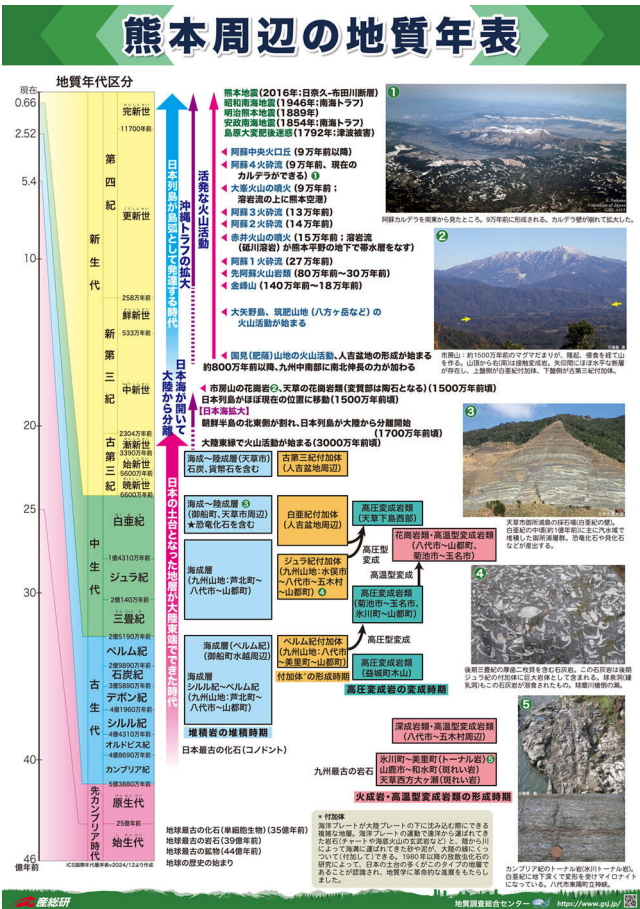
1. はじめに

2025年9月13～15日に熊本市の熊本城ホールで開催された「地質情報展 2025 くまもと」で、県民の皆様へ地元の地質に関心を持っていただくために、地質の紹介パネル(第1図、第2図)と共に、熊本県内の代表的な岩石を展示するコーナーを2つ企画しました(第3図)。「代表的な岩石」として、1つめは日本地質学会が2016年に選定した「県の石」です。「県の石」は各都道府県を代表する「岩石」、「鉱物」、「化石」の3種類が選定されたものです。もう1つは、熊本県に分布する地層・岩石を網羅した中で代表的なものです。

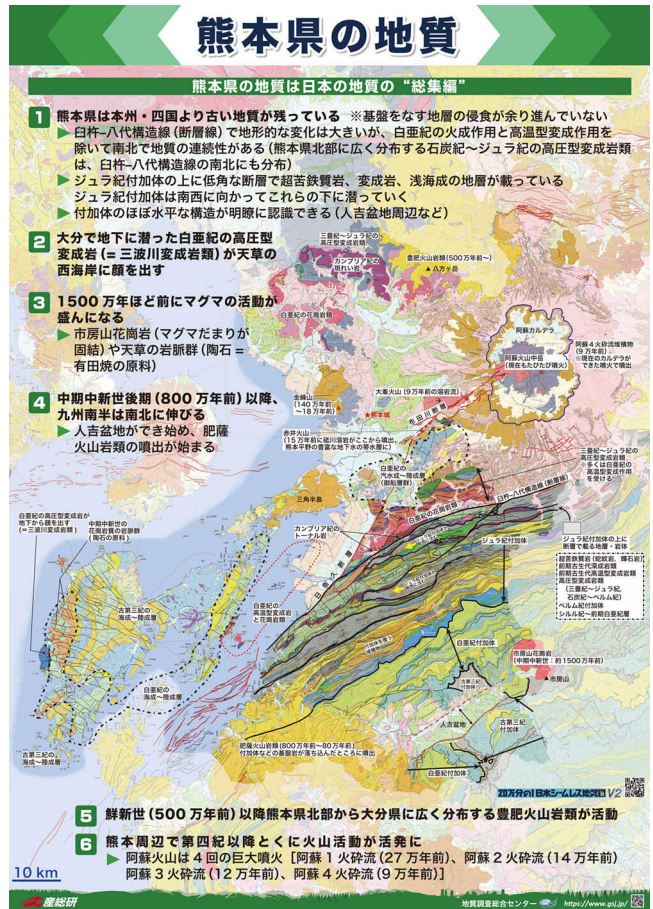
これらの地質標本は、その背景となる熊本周辺の地質年表のパネルや九州一円の床貼り地質図の展示(第4図)の近くに配置されました。以下、熊本県の代表的な地質標本展示を中心にイベントの様子を報告します。

2. 熊本県の「県の石」

会場では、九州・沖縄地方8県の「県の石」について、岩石・鉱物・化石の3種類が網羅されたパネル1枚を展示しました。このパネルは、2017年1月17日(火)～2月26日(日)に産総研地質標本館の特別展「ふるさとの新たな主役『県の石』」の際に作成された展示パネル「九州地方・沖縄



第1図 熊本の時地質年表 (斎藤, 2025a).



第2図 熊本の時地質年表 (斎藤, 2025b).

1 産総研 地質調査総合センター連携推進室

2 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

キーワード：地質情報展 2025 くまもと、地質年表、床貼り地質図、熊本県の石、岩石、鉱物、化石



第3図 熊本の地質説明パネルと代表的な岩石の展示の様子。左写真：熊本市立熊本博物館出展の熊本県の石（岩石、鉱物、化石）の説明と博物館展示物（パネル展示）の紹介をする西田範行氏（熊本博物館 主任主事）。展示されたのは、手前から、化石：KCM 12-000383 および KCM 12-000433、鉱物：KCM 15-001232、岩石：未登録標本の4点（展示標本の詳細は、西田，2026 参照）。右写真：GSJ から出展の熊本県の代表的な岩石・化石4点と地質の説明パネル。展示した標本については、本文参照。

の県の石」を再利用したものです。ここに表示されている熊本県の「県の石」は、以下の3種類です。

- ・県の石（岩石）：溶結凝灰岩（主要産地：阿蘇山周辺）
- ・県の石（鉱物）：鱗珪石（トリディマイト）（主要産地：熊本市島崎の石神山）
- ・県の石（化石）：白亜紀恐竜化石群（主要産地：天草市、御船町）

地質標本館特別展「ふるさとの新たな主役『県の石』」のウェブサイトは以下で閲覧できます。

https://www.gsj.jp/Muse/exhibition/archives/2017/2017_spring.html

<https://www.gsj.jp/publications/pub/res-promo/res-promo86.html>

（共に閲覧日：2025年11月28日）

日本地質学会の選定した熊本県の「県の石」の選定理由を含むそれぞれの詳しい説明は日本地質学会のウェブサイトをご覧ください。

<https://geosociety.jp/name/content0123.html#kumamoto>
（閲覧日：2025年11月28日）

熊本県の「県の石」の岩石、鉱物、化石それぞれの説明についてはA2サイズの説明パネルをGSJで準備し、標本については熊本市立熊本博物館から出展していただきました（第3図；西田，2026参照）。また、「県の石」のうち化石の「白亜紀恐竜化石群」については、展示会場に天草市立御所浦恐竜の島博物館および御船町恐竜博物館からそれぞれの地域で産出した恐竜等の説明パネルを1枚ずつ出展して

いただいたことで充実した展示となったと考えています。

3. 熊本県の地質を代表する岩石類

「県の石」とは別に、熊本県に分布する地層や岩石を代表する標本もいくつか選択して展示しました。具体的には、以下の4点です。

- ・トータル岩マイロナイト（産地：熊本県益城郡美里町、年代：古生代カンブリア紀の原岩が中生代白亜紀に变成、未登録標本）
 - ・単斜輝石岩（パイロキシナイト）（産地：熊本県八代市和小路、年代：古生代カンブリア紀、登録番号：GSJ R078098）
 - ・ひすい輝石藍閃石變成斑れい岩（産地：熊本県八代市泉町塩平南方、年代：古生代カンブリア紀の原岩が古生代石炭紀末期～ペルム紀初期に变成、登録番号：GSJ R080960）
 - ・メガロドン（厚歯二枚貝）石灰岩（産地：宮崎県東臼杵郡椎葉村、年代：中生代三畳紀、登録番号：GSJ F16766）
- なお、地質は県境などの行政区分とは関係なく続きますので、熊本県だけではなく、隣県の宮崎県産の標本も含まれています。

4. 来場者の反応など

熊本県内では恐竜を始め、多くの化石が産出していますので、地質への関心の高い方も多くおられます。このコーナーに共同出展となった熊本市立熊本博物館から学芸員が



©2010 熊本県くまモン 2025/9/15

第4図 巨大床貼り地質図の展示と説明の様子。最終日の午前には熊本県PRキャラクター「くまモン」の来訪があり、九州南部の地質と金鉱山の説明をしているところ。くまモンは金鉱山に大いに関心を示していた。

説明に来られていたため、来場者は身近な話題として化石のほか、地元の岩石や鉱物のことを知ることができたようです。

床貼り地質図の展示では、まずはどこから来られたか、地図の中でどこにお住まいかをお尋ねし、それぞれの地域の地質の話題から話を進めました。熊本県内に限らず九州内の方であれば地質図を見ながら地域の地質の話をして、自分の住んでいるところがどのような地質(地盤)であるかに興味を持っていただけました。地質と土地利用の関連性についても関心を持ってもらえたようです。床貼り地質図に活断層も併せて表示していることから、地震との関連性にも話が広がりました。また、現在はほとんどの鉱山が閉山しているため、かつて九州一円に多くの鉱山があったことを話すと、関心を示す方もいました。

最終日(15日)には、熊本県PRキャラクター「くまモン」の来訪を受け、著者の斎藤がくまモンに地質図の説明をしました(第4図)。くまモンは、地質図は初めて見たとのことでしたが、九州南部の地質、特に金鉱山に大いに興味を持ったようです。そして、離れた地域で同じ色が塗られている場所を見つけて、同じ地質が分布していることに気づくなど、反応が良かったことが印象的でした。

5. おわりに

熊本県の地質を代表する岩石・鉱物・化石は、「熊本周辺の地質年表」、「熊本県の地質」、「県の石」、「床貼り地質図」の展示エリアに共通する素材として展示しました(第3図、第4図;持丸ほか, 2026の第2図も参照)。多くの方に上記パネルや床貼り地質図と併せて標本を見ていただくことで、熊本周辺の地質を知りたい方にとって分布の情報(地質図)と実際にあるモノ(岩石など)を結びつけて捉えていただくことができたものと思います。今回展示した床貼り地質図、地質情報の展示パネル類は、地質情報展終了後に熊本市立熊本博物館に提供することになりましたので、熊本の皆様には今後も継続して地域の地質について学んでいただけることを期待しています。

上記の岩石標本に加えて、天草炭田産の石炭標本(登録番号:GSJ R004598)が九州の石炭の解説パネルの前に展示されました(吉岡ほか, 2026参照)。かつて黒いダイヤと言われた石炭ですが、現在は炭鉱が閉山しているため、今や貴重な標本の展示となりました。

最後に、熊本県の「県の石」を出展していただいた熊本市立熊本博物館、熊本県の変成岩類の年代等について議論し

ていただいた宮崎一博氏，2日目に臨時に床貼り地質図説明を担当していただいた野田 篤氏，展示風景の写真を提供いただいた長江敦子氏，宍倉正展氏(以上，GSJ)にこの場を借りてお礼を申し上げます。

文 献

持丸華子・利光誠一・清水 徹・長江敦子・宍倉正展・小松原純子(2026)「地質情報展 2025 くまもと 一火の国・水の国！大地のふしぎ」開催報告. GSJ 地質ニュース, 15, 133-140.

西田範行(2026)地質情報展 2025 くまもと：「博物館の所蔵資料紹介パネル」「県の石」展示報告. GSJ 地質ニュース, 15, 141-142.

斎藤 眞(2025a)熊本周辺の地質年表. 地質調査総合センター研究関連普及出版物, no. 288, 001. [https://www.gsj.jp/publications/pub/res-promo/res-](https://www.gsj.jp/publications/pub/res-promo/res-promo288.html)

[promo288.html](https://www.gsj.jp/publications/pub/res-promo/res-promo288.html)(閲覧日：2025年11月28日)

斎藤 眞(2025b)熊本県の地質. 地質調査総合センター研究関連普及出版物, no. 288, 002. <https://www.gsj.jp/publications/pub/res-promo/res-promo88.html>(閲覧日：2025年11月28日)

吉岡秀佳・鈴木祐一郎・持丸華子(2026)地質情報展 2025 くまもと 九州の石炭開発と天草炭田. GSJ 地質ニュース, 15, 152-153.

TOSHIMITSU Seiichi, SAITO Makoto and YANAGISAWA Norio (2026) Typical rocks, minerals and fossils from Kumamoto Prefecture and surrounding areas, with a huge geological map of Kyushu, displayed at Geoscience Exhibition in Kumamoto 2025.

(受付：2025年12月8日)